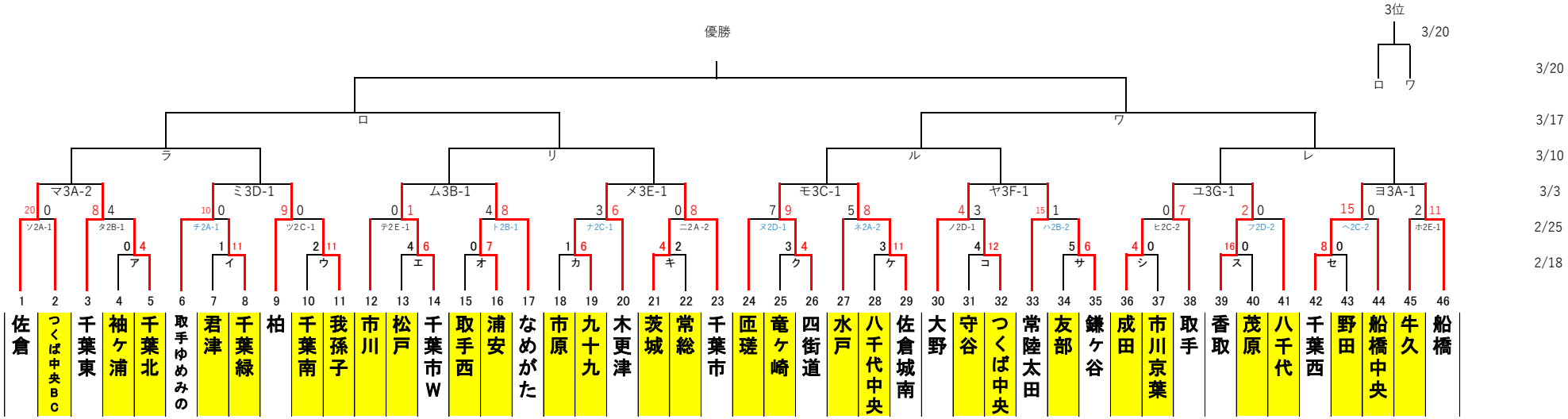
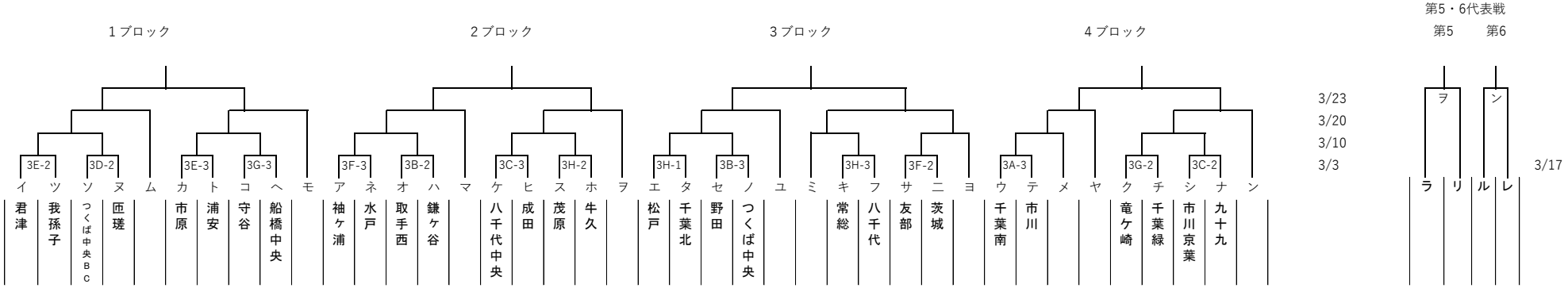
2024年　小林喜一メモリアル東関東支部春季大会



3月2日グランド

A佐倉　・　Bなめがた　・　C九十九　・　D山桑球場　・　竜ケ崎KKスタジアム

敗者復活戦



2回戦　　3月2日　　予定

グラウンド	グランドタイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A 佐倉	B	6 取手ゆめみ野	10 — 0	8 千葉緑	27 水戸	5 — 8	29 佐倉城南	
B なめがた	A	16 浦安	4 — 8	17 なめがた	33 常陸太田	15 — 1	35 鎌ヶ谷	
C 九十九	A	19 九十九	3 — 6	20 木更津	42 千葉西	15 — 0	44 船橋中央	
D 山桑球場	A	24 匝瑳	7 — 9	26 四街道	39 香取	2 — 0	41 八千代	
E 竜ケ崎KK スタジアム	B	45 牛久	2 — 11	46 船橋				

3回戦・敗者1回戦　　3月3日　　予定

グラウンド	グランドタイプ	第1試合			第2試合			第3試合		
A 佐倉	B	42 千葉西	—	46 船橋	1 佐倉	—	3 千葉東	ウ 千葉南	—	テ 市川
B取手	A	14 千葉市W	—	17 なめがた	オ 取手西	—	ハ 鎌ヶ谷	ノ つくば中央	—	セ 野田
C 九十九	A	26 四街道	—	29 佐倉城南	ナ 九十九	—	シ 市川京葉	ケ 八千代中央	—	ヒ 成田
D柏	B	6 取手ゆめみ野	—	9 柏	ソ つくば中央ＢＣ	—	ヌ 匝瑳		—	
E木更津	A	20 木更津	—	23 千葉市	イ 君津	—	ツ 我孫子	ト 浦安	—	カ 市原
F友部	A	30 大野	—	33 常陸太田	ニ 茨城	—	サ 友部	ア 袖ヶ浦	—	ネ 水戸
G竜ケ崎KK スタジアム	B	38 取手	—	39 香取	チ 千葉緑	—	ク 竜ケ崎	コ 守谷	—	ヘ 船橋中央
H千葉北	A	タ 千葉北	—	エ 松戸	ス 茂原	—	ホ 牛久	キ 常総	—	フ 八千代

(Ver.9.0　　2022/11/12)

＜様式 A＞　※試合毎の投球数は、様式 Bより転記する。

投 球 数 確 認 シ ー ト

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 ： 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会　　チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

	球　場　名																
	試 合 月 日	／	／			／			／			／			／		
	対 戦 相 手	VS	VS			VS			VS			VS			VS		
	背番号	投 手 名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9			球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
	球場責任理事（役員） 確認サイン																
	球場責任審判員 確認サイン																
	監督 確認サイン																

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート（原本）に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事（役員） 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、次の試合開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
④鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

(Ver.8.0　　2022/9/12)

＜様式 B ＞（1試合用）　投球数確認シート　【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 ： 小林喜一メモリアル東関東支部春季大会　　チーム名 ：

試合日 ：　　年　　月　　日　（第　　試合）　　球 場 名 ：

＜ 記 入 例 ＞　※上段：投球数を正の字で記入　※下段左：その回の投球数　※下段右：累計の投球数

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本　一郎	90 (92) 球	正正正	正正正Ｔ	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注）五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】

	背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
2			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
3			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
4			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
5			球											球
				/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大**90**球以内とする。
②連続する2日間で**130**球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目と2日目の投球数合計を**90**球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も**90**球以内とする。なお、3日間の投球数合計を**130**球以内とする。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤大会中は1日**90**球投球後、翌日投球を休めば3日目は**90**球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑧万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①様式 B ´やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
②試合終了後、責任審判員が保管する。